

整理番号	34003
評価対象年度	令和3年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和2年12月9日
事業担当課	景観推進室
担当者・内線	森岡・3531

《基本情報》

事務事業名	(仮称)開港5都市景観まちづくり会議2021 長崎開港450周年記念大会		<input type="checkbox"/> 新規
			<input checked="" type="checkbox"/> 拡大
基本施策	A2 まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます		
基本施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	市域全体が	まちなみ、自然等の地域の個性を活かし、魅力的になっている。	
個別施策	A2-1 地域の景観や自然など個性を活かしたまちづくりを推進します		
個別施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	景観や自然等の地域の個性が	まちづくりに活かされている。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	<p>開港5都市景観まちづくり会議は、安政5年に開港に指定された函館、新潟、横浜、神戸及び長崎の5都市の市民が、景観、歴史、文化、環境などを大切に守り、愛着をもって育て、個性豊かで魅力あるまちづくりを行うため、相互に交流を深め、課題を協議し、開港5都市のまちづくりの推進に資することを目的とした会議である。</p> <p>毎年、各都市の持ち回りで開催され、近年では各都市の若者世代が積極的に関わることで世代交代が起こりつつあるなか、来年、長崎市で開催される予定となっている。</p> <p>しかし、近年、景観まちづくりを取り巻く状況は多様化しており、景観だけでなく観光や商業など、まちづくりに関わる幅広い分野の多様な市民の参画が必要となっているが、本会議の参加者については、ほとんどが5都市の景観まちづくり関係団体の参加に留まっている。</p>
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	<p>開港450周年という節目に、これまで本会議に参加していなかった観光や商業などに関係する幅広い市民の参加を促し、各都市との交流を契機として、様々な市民の方が長崎市の景観まちづくりに積極的に参画できるような状態にしたい。</p>
課題(どういことをする必要のあるのか)	<p>開港5都市会議は、長崎市の景観まちづくりを内外的に広く啓発できる貴重なイベントでもあり、例年、それぞれの大会には、主に5都市の景観まちづくり市民団体が参加している。</p> <p>また、第五次総合計画基本構想である「個性輝く世界都市」や、本市で推し進める「交流の産業化」の達成のためにも、資源となる景観まちづくりは重要である。</p> <p>そこで、より幅広く市民参画を促し、様々な意見や考えを取り入れることで、これからの長崎の景観や個性を活かしたまちづくりをより一層推進していくことが必要。</p>

上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・ (無) ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有・ (無) ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

<p>事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)</p>	<p>対象:開港5都市景観まちづくり団体、市民 事業主体:(仮称)開港5都市景観まちづくり会議2021長崎開港450周年記念大会実行委員会 事業期間:令和3年11月(予定)</p> <p>総事業費:3,300千円 (長崎市負担金…1,200千円、協賛金…300千円 参加団体負担金…500千円、参加者負担金…1,000千円、グッズ販売…300千円)</p> <p>事業費内訳:3,300千円 (大会運営費…1,920千円、広報費…1,000千円、大会委託費…300千円、会場借上費…80千円)</p>					
<p>業務量の増減</p>	<p>187時間(担当係員2名、係長1名の総時間)の増</p>					
<p>市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)</p>	<p><input type="checkbox"/> 情報共有 <input checked="" type="checkbox"/> 参画 <input type="checkbox"/> 協働</p> <p>例年、同大会実行委員会を構成している各地区の景観まちづくり団体が、各分科会やオプションツアーを企画から当日の運営まで担当しており、参加者とまち歩きやワークショップにて様々な意見交換を行っているが、新型コロナウイルス感染拡大が深刻化する中、来年度においても状況は大きく改善される兆しもないため、新しい生活様式に即した会議(イベント)内容にする必要がある。</p> <p>そのため、これまでのやり方を一新するとともに、HPへの掲載や紙面による報告書の配布などに留まっていた広報方法や参加方法を見直し、動画配信やデジタル記録保存を行い発信することで、より多くの人に長崎市の景観まちづくりに関して興味を持ち知ってもらうことが可能となる。</p> <p>それにより、これまで参加していなかった観光や商業など、幅広い市民のこれからの参画を促すことができる。</p>					
<p>事業期間</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)</p>					
<p>予算額</p>	<p>金額(千円)</p>	<p>国</p>	<p>県</p>	<p>地方債</p>	<p>その他</p>	<p>一般財源</p>
	<p>当年度</p>	<p>1,200</p>				<p>1,200</p>
	<p>総額</p>	<p>1,200</p>				<p>1,200</p>
<p>財源名称</p>						
<p>成果(活動)指標</p>	<p>指標(単位)</p>	<p>長崎の街並みや景観に誇りを感じる市民の割合</p>				
	<p>年度</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>	<p>令和6年度</p>	<p>令和7年度</p>
<p>成果指標及び目標値の説明</p>	<p>目標値</p>	<p>88.4</p>				
	<p>成果指標及び目標値の説明</p>	<p>・市民が景観に誇りを持つことは施策の重要な成果であると考えられるため ・市民意識調査により把握する ・調査開始の平成24年度から直近値までの増加率。毎年度、0.75ポイント増を目標とする。</p>				

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由

<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善	<input type="checkbox"/> 事業規模拡大	<input type="checkbox"/> 事業規模縮小
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 事業統廃合	<input type="checkbox"/> その他		
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			

(2) 評価会議における指摘事項

開港5都市の交流を深め、課題を協議し、各都市のまちづくりの推進に資することを目的とする「(仮称)開港5都市景観まちづくり会議2021 長崎開港450周年記念大会」を開催するものである。

景観まちづくりに関係する市民だけでなく、幅広い市民参画を促すことで、これからの長崎の景観や個性を活かしたまちづくりのより一層の推進につながることから、事業の実施は適当である。

ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。

【その他の意見】

・開港450周年記念事業との連携をはじめ、市民参画を積極的に図ること。